



TITLE:

# 表紙 (泌尿器科紀要 第31巻第7号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第31巻第7号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要  
1985, 31(7): 1298-1298

ISSUE DATE:

1985-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/118527>

RIGHT:

# 泌 尿 器 科 紀 要

第 31 巻 第 7 号 1985 年 7 月

進行期尿路上皮癌に対する Vincristine, Peplomycin, Methotrexate, cis-Diamminedichloroplatinum (II), Cytosine Arabinoside, 5-Fluorouracil からなる 6 者併用化学療法 (VPM-CisCF).....	山内 民男・ほか	1093
Computed Tomography による睪丸腫瘍の後腹膜転移巣の診断 —ことに横隔膜脚 (retrocrural space) のリンパ節腫大について—.....	川村 寿一・ほか	1105
原発性腎盂癌の臨床的観察.....	天野 正道・ほか	1117
硬性腎盂尿管鏡 (ユレテロレノスコープ) の使用経験.....	青木 光・ほか	1123
腎血管脂肪腫の診断と治療について.....	飯塚 典男・ほか	1131
早期腎腫瘍の発見における CT 検査の重要性.....	永井 信夫・ほか	1137
自律神経過反射の臨床的検討.....	小谷 俊一・ほか	1143
陰囊内腫瘍に対する超音波診断の検討 (英文).....	三崎 俊光・ほか	1151
臨床分離 <i>Citrobacter freundii</i> の病原性に関する 臨床的・実験的研究.....	原田 益善	1159
自然腎盂外溢流の 6 例.....	木下 修隆・ほか	1171
尿管異所開口の 7 例.....	川村 直樹・ほか	1183
結腸憩室炎に起因した S 状結腸膀胱瘻の 1 例.....	宮北 英司・ほか	1189
尿路サルモネラ感染症の 4 例.....	池田 龍介・ほか	1199
停留精巣をともなった Cornelia de Lange syndrome の 1 例.....	里見 定信・ほか	1203
X 染色体の構造異常 (Xp <sup>+</sup> ) を伴った Mixed Gonadal Dysgenesis の 1 例.....	渡辺 秀輝・ほか	1211
大阪府立成人病センター泌尿器科における入院・手術統計 (1978 年 1 月~1983 年 12 月).....	古武 敏彦・ほか	1221
FT-207 と 5-FU の経膀胱的吸収に関する比較 —雑種犬を用いた基礎的検討—.....	中川 修一・ほか	1227
表在性膀胱腫瘍に対する 1-hexylcarbamoyl-5-fluorouracil (HCFU) および 1-(2-tetrahydrofuryl)-5-fluorouracil (Tegafur) 剤 内服による再発防止効果の比較検討.....	三崎 俊光・ほか	1233
膀胱洗浄用液剤の使用実態と傾向.....	小林 悟・ほか	1243
下部尿路不定愁訴に対する清心蓮子飲の使用経験.....	寺田 為義・ほか	1253
第34回 泌尿器科中部連合総会シンポジウム II		
泌尿器科領域における超音波穿刺術 司会のことば.....	渡辺 決	1257
穿刺の基礎と選択的腎生検.....	斉藤 雅人・ほか	1259
ロボットによる穿刺.....	坂口 強	1265
経皮的順行性腎盂造影.....	保科 彰・ほか	1269
経皮的腎囊胞穿刺術.....	東 義人・ほか	1275
経皮的腎瘻術 (PNS).....	平尾 佳彦・ほか	1281
経皮的腎尿管切石術 (PNL).....	棚橋 善克・ほか	1287
超音波穿刺術の応用 —前立腺生検瘻精囊穿刺—.....	神林 知幸・ほか	1293

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,  
Kyoto University, Kyoto Japan 606  
京都大学医学部泌尿器科学教室

## 購 読 要 項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 6,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投 稿 規 定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
  - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文 7 頁 (400字×28枚程度) 図 (Fig) 10枚、表 (Table) 5 枚までとする。
  - (2) 和文原稿は B 5 版 400 字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
  - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名 (山田：または山田・ほか：) と、2 語 (例：前立腺がん・PSA) からなる running title を付す。
  - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5 語 (英文) 以内の Keywords、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
  - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず) の順にタイプし、別に標題、所属機関名、著者名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
  - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %, °C, pH などとする。
  - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したものが見望ましい。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。  
(例：山田<sup>1,3,7)</sup>、田中ら<sup>1,3,~10)</sup>によると)  
雑誌の場合—著者名 (全員)：題名、雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年  
単行本の場合—著者名 (全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町 54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
- (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう、著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲 載
  - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
  - (2) 紙代、印刷費および最初 1 頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別 刷  
実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員： 石神 襄次      前川 正信      宮崎 重      新谷 浩  
                園田 孝夫      友吉 唯夫      吉田 修 (主 幹)

---

泌尿器科紀要 第31巻 第7号      1985年7月25日 印刷      1985年7月31日 発行  
発行 吉田 修      顧問 加藤 篤 二      発行所 泌尿器科紀要刊行会  
〒606 京都市左京区聖護院川原町54      京都大学医学部泌尿器科学教室内      電話(075)751-3327(直通)  
印刷所 山代印刷株式会社      京都市上京区寺之内通小川西入

---